施策15

文化・歴史の継承と観光振興

主管部長(課)

地域振興部長(文化観光課)

関係部長(課)

1 施策目標

江東区の目指す姿

歴史や伝統・芸術文化などが次世代に継承されるとともに、身近に親しめる機会が確保されています。また、情報発信を強化するとともに、魅力的な観光資源を発掘・開発することで、区内外から多くの観光客が訪れるまちが実現しています。

施策実現に関する指標(代表指標)

指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値 (6年度)	指標担当課
江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合	%	74.2	74.0	75.8	71.3	68.9		80	文化観光課

指標選定理由

魅力的な観光資源の発掘・開発を推進するなど、区の取り組みに対する効果を客観的に示す指標であるため

 達成度

 分析

◆まちなかにある既存の観光資源が、SNS等ソーシャルメディアの普及により掘り起こされ、地域の魅力の再発見に繋がっている。今後は、豊洲千客万来や移築が完了した旧渋沢家住宅の一般公開を契機とした観光施策の推進、並びに、区の魅力的な観光資源である河川や運河を活用した観光施策の充実など、その魅力を多様な媒体を通して国内外に広く発信していく必要がある。

施策コストの状況

	種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算
1	ータルコスト	1,169,246千円	1,008,632千円	1,343,659千円	7,230,693千円
	事業費	1,101,513千円	950,220千円	1,257,671千円	7,134,048千円
	人件費	67,733千円	58,412千円	85,988千円	96,645千円

≪参考≫施策を取り巻く状況(社会状況/国・都の動向)

- ◆国は平成29年に改正された「文化芸術基本法」に基づき、文化芸術推進基本計画を策定。令和4年度までの第1期計画に続き、第 2期計画を令和5年3月24日に閣議決定した。計画期間中は、心豊かで活力ある社会を形成するため「文化芸術と経済の好循環」を実現すべく7つの重点取組を推進するとしている。
- ◆都はPRIME観光都市・東京 東京都観光産業振興実行プラン 2024-2026」を策定した。新型コロナウイルスによる水際対策が終了し、訪日外国人旅行者数が回復するなど、新たなフェーズにおける施策が求められていることや観光を巡る動向の変化等を踏まえ、観光施策の再構築を行い、国際競争力を強化した世界最高の「PRIME観光都市・東京」の実現を目指すとしている。

2 施策目標の達成に向けた具体的な取組方針

_		ノ廷以に同じた共体的な状態力到
	取組方針1	伝統文化の保存と継承
	主な取組	文化財の保護及び地域への文化財の周知・普及の推進
	取組内容	◆地域に残された文化遺産を調査し、文化財として保護していくとともに、区民まつりにおける民俗芸能大会や 伝統工芸展の開催を通じて、区に残る文化財の周知・普及を図る。 ◆移築復原が完了した「旧渋沢家住宅」の一般公開等、文化財の保存活用を図るとともに歴史文化施設三館の 情報発信力を高めるため、デジタル技術等の活用を図る。
	主な実施事業	文化財保護事業、文化財公開事業、歴史文化施設管理運営事業
	取組方針2	芸術・文化活動の支援
	主な取組	発表活動の支援と次世代育成
	取組内容	◆これまでに引き続き、芸術提携を結ぶバレエ団及び管弦楽団が区内の小学校へのアウトリーチを実施。今年度は、訪問する校数を増やして実施する。 ◆優れた音響効果とピアノを擁する豊洲シビックセンター大ホールを活用し、区内を拠点に活動する若手の演奏家に公演の場を提供する新規事業を展開する。
	主な実施事業	江東公会堂管理運営事業、地域文化施設管理運営事業
	取組方針3	地域資源を活用した観光振興
	主な取組	魅力的な観光資源の発掘ならびに周知の推進
	取組内容	◆区内観光スポットを周遊する「周遊・謎解きイベント」の実施や、豊洲千客万来の開業に伴い、観光協会や関係部署と連携しながら国内外の観光客を誘客するための観光施策を引き続き着実に進めていく。また、区の多様な観光資源の発掘や豊かな水辺環境の活用など、その魅力を様々な媒体を通し国内外に広く発信していく。さらに、令和2年度に終了した「観光推進プラン」を新たに策定するため、観光課題の調査・分析を行っていく。
	主な実施事業	観光推進事業、観光イベント事業、江東区観光協会運営補助事業

3 取組方針の実施状況

取組方針1 伝統文化の保存と継承

主管部長(課) 地域振興部長(文化観光課) 関係部長(課)

文化財保護推進協力員と協働し、江戸時代以降に花開いた伝統文化や文化財を保護するとともに、講習会・講演会の開催等区内外へのPR や小中学校との連携などにより、区と区民が一体となって伝統文化の継承及び後継者の育成に取り組みます。また、伝統文化保存団体の活動の支援と、伝統文化を披露する場の充実により、区民が伝統文化に親しめる環境を整備します。さらに、芭蕉記念館、深川江戸資料館、中川船番所資料館については、施設の魅力を高めるために資料の充実や展示方法の工夫、多言語化等の取り組みを進めます。

16	· 1=	
15	'T=	
TE	14	

指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値(6年度)	指標担当課
伝統文化公開事業の延べ参加者数	人	9,247 (30年度)	5,565	5,773	8,070	8,418		12,000	文化観光課

取組コストの状況

	種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算
7	ータルコスト	410,709千円	344,672千円	410,326千円	450,113千円
	事業費	380,732千円	318,932千円	383,581千円	420,172千円
	人件費	29,977千円	25,740千円	26,745千円	29,941千円

成果と課題

- ◆少子高齢化等の社会状況の変化を背景に無形文化財や伝統芸能において、後継者育成や適切な専門的人材の確保などが困難になっており、課題となっている。
- ◆コロナ禍からの回復に伴い、イベントへの参加者数は増加したが、有形・無形の文化財を観光に生かしつつ、文化財 継承の担い手を確保し、地域社会全体で取り組んでいくことのできる体制づくりを整備することが必要となっている。
- ◆急速に進化するデジタル技術について、文化財の分野に取り入れながら、有効に活用することが求められている。

取組方針2 芸術・文化活動の支援

主管部長(課) 地域振興部長(文化観光課) 関係部長(課)

芸術文化団体の活動を支援するとともに、江東公会堂や地域の文化センターなどを活用し、区民ニーズに合った芸術文化事業を企画、誘致します。また、プロによるアマチュア指導の機会を設けるなど、次世代の芸術の担い手を育成していくとともに、区民が自然に芸術文化活動に親しめる様々なきっかけづくりに取り組みます。

指標

指標名	単位	現状値(元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値(6年度)	指標担当課
江東区文化施設における発表活動の 実施件数	回	377 (30年度)	156	215	229	291		420	文化観光課

取組コストの状況

種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算
トータルコスト	467,397千円	391,906千円	569,972千円	6,427,024千円
事業費	459,526千円	385,003千円	549,492千円	6,413,006千円
人件費	7,871千円	6,903千円	20,480千円	14,018千円

成果と課題

◆5年度は、コロナ禍で希薄となった地域コミュニティの活性化により一層注力し、各文化施設で地域のネットワークを活用した新規事業や事業の拡大に取り組んだことで、実績も上昇した。地域の文化センター・江東公会堂のスペースや設備を活用した事業を充実させ、区民が芸術文化活動に親しみやすい環境づくりを着実に進めていくことが課題である。 ◆区も、多様化する社会課題や区民ニーズを反映させた事業展開を図り、「アウトリーチ・コンサート」等の区民が芸術文化を身近に感じられるような施策が求められている。

取組方針3 地域資源を活用した観光振興

主管部長(課) 地域振興部長(文化観光課) 関係部長(課)

歴史・文化、水辺、スポーツ、食、アート、商店街、人といった本区の持つ魅力を活かしながら、江東区観光協会を中心 に官民連携の下、新たな観光資源の開発に取り組みます。また、本区の各エリアが持つ特徴的な観光資源を多様な媒 体を活用して国内外に広く発信するとともに、観光キャラクターの活用など様々な手法で誘客を図ります。さらに、豊洲 市場や千客万来施設、東京2020大会のレガシーなど新たな観光資源との連携や、観光人材の養成・活用により、国 内外の観光客に対するおもてなしの強化を図るとともに、近隣自治体等と連携した効率的・効果的な観光振興を進めま す。

指標

3 H 10.									
指標名	単位	現状値 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	目標値(6年度)	指標担当課
観光ガイドの案内者数	人	4、988 (30年度)	718	1,265	2,046	2,088		6,000	文化観光課

指標選定理由 観光人材の活用により、効率的・効果的な観光振興に対する効果を示す指標であるため 達成度 ◆江東区文化観光ガイドを活用したガイドの案内者数は増加しているものの、コロナ禍以降ガイド事 業を中止した団体が複数あることから、観光ガイドの案内者数が伸び悩んでいる。

*

取組コストの状況

	種別	5年度予算	5年度決算	6年度予算	7年度予算
1	ータルコスト	291,140千円	272,054千円	363,361千円	353,556千円
	事業費	261,255千円	246,285千円	324,598千円	300,870千円
	人件費	29,885千円	25,769千円	38,763千円	52,686千円

成果と課題

- ◆観光PRイベントの出展等を通し、観光振興を推し進めることができた。 近隣自治体等と連携して実施したイベントも多 く、効率的かつ効果的な取り組みができている。
- ◆「水彩都市・江東」を象徴する河川や運河を活用した観光施策が課題となっている。その特長的な観光資源を活用し た観光施策に取り組むとともに、新たな観光資源の発掘・開発を進め、本区の魅力を広く発信していく。
- ◆インバウンドが復調してきており、令和6年2月に開業した豊洲千客万来にも多くの国内外の観光客が来訪している。区 では観光案内所を設置し、観光スポット等の案内を行っているが、今後も観光協会や関係部署と連携しながら国内外の 観光客を誘客するための観光施策を着実に進めていく。

4 一次評価《主管部長による評価》

総評

◆コロナ禍からの回復に伴い、事業内容に工夫を凝らし、伝統文化の継承や芸術文化の推進、そし て観光施策に向けた取り組みを着実に実施することができた。

今後の方向性

◆本区の強みを活かした、質の高い伝統・芸術文化に触れる・参加する機会を提供するほか、その価 値や取り組みについて、区民へのPRに努めるとともに、デジタル技術等も活用しながら区内外への情 報発信をさらに進めていく。

◆江東区の今後の観光施策を効果的に推進していくにあたり、令和2年度に終了した「観光推進プラ ン」を新たに策定するための準備を進めていく。

5 二次評価《区の最終評価》 ※4年度の外部評価結果を反映した評価について太字で表記してあります。

総評

- ◆指標については、イベント開催等がコロナ禍前と同程度に実施されてはいるものの、計画策定時の 現状値から低下している。
- ◆今後も施策が目指す江東区の姿の実現及び指標の向上に向け、下記について着実に取り組む必 要がある。

◆文化財や伝統文化について知らない南部の新住民を対象に歴史や文化の普及啓発を行うなど、 文化財保護推進協力員との協働や小中学校との連携等により、広く区民が伝統文化に親しめる環 境を整備する。

実現に向けた 取り組み

- ◆引き続き、新たな観光資源の開発に引き続き取り組むとともに、それらの資源の観光振興への結 びつけについて、近隣自治体と連携しながら戦略を立て、区内外から多くの観光客が訪れる魅力あ るまちの実現を図る。
- ◆「水彩都市・江東」を象徴する河川や運河を活用し、水辺の魅力を多様な媒体を通して国内外に広 く発信していくとともに、舟運の観光への活用を検討する。
- ◆江東区の今後の観光施策を効果的に推進していくため、「観光推進プラン」を改定する。